



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月15日

上場会社名 株式会社オーバル 上場取引所 東  
 コード番号 7727 URL https://www.oval.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷本 淳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 浅沼 良夫 (TEL) (03) 3360-5061  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	14,347	7.8	1,475	33.5	1,572	28.1	1,102	69.8
2023年3月期	13,312	19.5	1,105	299.1	1,228	161.5	649	127.0

(注) 包括利益 2024年3月期 1,368百万円(46.3%) 2023年3月期 935百万円(64.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	49.20	—	7.7	6.9	10.3
2023年3月期	28.98	—	4.8	5.6	8.3

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 11百万円 2023年3月期 9百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	23,451	15,364	63.6	665.60
2023年3月期	22,365	14,282	62.0	618.87

(参考) 自己資本 2024年3月期 14,912百万円 2023年3月期 13,865百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,002	△172	△683	3,197
2023年3月期	617	△379	△574	2,963

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00	201	31.1	1.5
2024年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00	313	28.5	2.2
2025年3月期(予想)	—	7.00	—	8.00	15.00		38.2	

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	14,000	△2.4	1,300	△11.9	1,400	△11.0	880	△20.2	39.28

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	26,180,000株	2023年3月期	26,180,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	3,776,045株	2023年3月期	3,776,043株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	22,403,956株	2023年3月期	22,403,985株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	12,052	4.3	1,058	24.8	1,293	21.9	955	56.4
2023年3月期	11,557	15.7	848	193.4	1,060	107.1	611	136.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	42.66		—					
2023年3月期	27.29		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年3月期	19,292		12,530		65.0	559.31		
2023年3月期	18,416		11,788		64.0	526.17		

(参考) 自己資本 2024年3月期 12,530百万円 2023年3月期 11,788百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、当企業グループが発表日現在において入手可能な情報により判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって変動する可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は6月6日（木）に予定しております決算説明会后、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(表示方法の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. その他 .....	14
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	14
(2) 役員の異動 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化、また、世界的な金融引き締め政策による景気の冷え込みに加え中国経済の景気減速など、依然として先行き不透明な状況が続いております。わが国経済においては、インバウンド需要やサービス消費は増加傾向にあるものの、為替が円安基調で推移し、中小企業を中心に物価上昇に賃金の増加が追いつかない状況が続く、個人消費の弱さが経済を下押ししており、予断を許さない状況が続いております。

このような経営環境のもと、当企業グループは「中期経営計画『Imagination 2025』」の2年目として、経営理念“確かな計測技術で、新たな価値を創造し、豊かな社会の実現に貢献します。”に基づき、企業活動を通じてこれまで培ってきた技術をより一層深化させて、持続的な社会の実現に貢献する商品およびサービスを提供してまいりました。さらに、アジアNo. 1のセンシング・ソリューション・カンパニーを目指し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上にも取り組んでまいりました。

当連結会計年度においては、国内はコロナ禍から回復した顧客各企業の堅調な設備投資計画に後押しされ、受注高、売上高ともに順調に推移しました。その一例として、当社はENEOS株式会社堺製油所と陸上出荷制御システム更新工事の包括契約（以下「本契約」という）を締結しました。本契約は、日本国内のエネルギー安定供給に貢献するシステムの更新工事に関する包括契約であり、当社がこれまでに培った燃料油出荷システムの技術や実績が評価され、契約締結に至ったものであります。また、自動車関連市場向け塗料計測用の円ギア・メーターなど新アプリケーションの拡販も進めてまいりました。海外においては、中国四川省の成都に新たな拠点を設けるなどコリオリ流量計を中心に拡販を進めてまいりました。生産においては、CAM（Computer Aided Manufacturingの略。CADで作成した図面をもとに、工作機械での加工に必要な数値制御プログラムなどを作成するツール）を当社横浜事業所のマシニングセンタに導入し効率化を図ったほか、業務の棚卸なども行い、外部委託していた一部のプロセスを自社生産へ切り換えて工場稼働率の向上を進めるなど、製造経費の圧縮に努めてまいりました。

その結果、受注高は14,985百万円（前連結会計年度比8.4%増）、売上高は14,347百万円（同7.8%増）と前連結会計年度を上回りました。利益面でも売上高の増加、DX化による業務の効率化による人件費などの固定費率および生産の外部委託費減、また、原材料費の上昇を踏まえ一部商品につきまして値上げを実施した結果、営業利益は1,475百万円（同33.5%増）、経常利益は1,572百万円（同28.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,102百万円（同69.8%増）といずれの利益におきましても前連結会計年度を大きく上回る結果となりました。

事業部門別の業績は、以下のとおりであります。

#### (センサ部門)

受注高は、国内は半導体関連業界向けが足元で一服している影響で前連結会計年度より減少しておりますが、化学関連業界向けが素材市場などを中心に堅調に推移しております。海外は中国、韓国において電気自動車用の電池関連業界向けが好調に推移しております。その結果、受注高は10,305百万円（前連結会計年度比5.5%増）と前連結会計年度を上回りました。売上高は、受注高同様に化学関連業界向けが堅調だったこと、半導体関連業界向けについては、当第3四半期連結累計期間までの受注分を出荷したこと、海外も中国、韓国において電池関連業界向けが好調だったことなどにより9,937百万円（同7.6%増）となり、前連結会計年度を上回りました。

なお、2023年2月24日付け「Anton Paar GmbHとのライセンス契約の締結に関するお知らせ」でお知らせしましたとおり、当社は、2023年2月24日付けでAnton Paar GmbHとの間で、コリオリ流量計および電磁流量計に係るライセンス契約を締結しておりますが、知的財産のライセンスの対価である契約一時金の収受につきまして、第2四半期連結累計期間に受注高・売上高の計上があり、収益確保に寄与しております。

## (システム部門)

受注高は、国内で国立研究開発法人産業技術総合研究所より「石油流量標準設備 更新・点検整備・改修作業」や、食品関連業界向けおよび防衛省向けの大口案件受注があり、1,986百万円(同25.2%増)と大きく前連結会計年度を上回りました。一方、売上高は、海外については前連結会計年度の受注減などにより低迷しておりますが、国内大口案件の工事進行基準適用による一部売上計上があり、1,724百万円(同8.9%増)と前連結会計年度を上回りました。

## (サービス部門)

当社の主要顧客である石油関連業界は、業界再編、脱炭素社会に向けたエネルギーの置換などにより市場環境は厳しい状況の中、保全計画サポートサービスなど地道できめの細かいメンテナンス活動を継続しております。また、他社商品のメンテナンスや校正事業の強化の一環として、2023年1月20日に京浜計測株式会社の全株式を取得し、前連結会計年度末に貸借対照表を、当第1四半期連結累計期間より損益計算書も連結いたしました。その他、原材料費の上昇などより、一部の部品やメンテナンスにおいて値上げを実施いたしました。その結果、受注高は2,694百万円(同8.9%増)、売上高は2,685百万円(同7.8%増)と前連結会計年度を上回りました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,085百万円増加し、23,451百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ1,099百万円増加し、12,634百万円となりました。これは主に、受取手形が96百万円、売掛金が252百万円それぞれ減少しましたが、現金及び預金が201百万円、電子記録債権が343百万円、契約資産が219百万円、棚卸資産が652百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ13百万円減少し、10,816百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が72百万円、投資有価証券が70百万円、長期前払費用が88百万円それぞれ増加しましたが、機械装置及び運搬具、ソフトウェア、のれんが減価償却等により197百万円、繰延税金資産が55百万円、保険積立金が55百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ3百万円増加し、8,086百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ322百万円増加し、4,315百万円となりました。これは主に、短期借入金が103百万円減少しましたが、未払金が390百万円、賞与引当金が69百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は318百万円減少し、3,771百万円となりました。これは主に、長期借入金が206百万円、退職給付に係る負債が51百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,082百万円増加し、15,364百万円となりました。これは主に、利益剰余金が833百万円、為替換算調整勘定が119百万円それぞれ増加したことによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ234百万円増加し、3,197百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は1,002百万円（前連結会計年度は617百万円の収入）となりました。これは主に、売上債権及び契約資産の増加額145百万円、棚卸資産の増加額624百万円により資金が減少した一方で、税金等調整前当期純利益1,551百万円、減価償却費499百万円により資金が増加したためであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は172百万円（前連結会計年度は379百万円の支出）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入231百万円により資金が増加した一方で、有形固定資産の取得による支出268百万円、定期預金の預入による支出192百万円により資金が減少したためであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は683百万円（前連結会計年度は574百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入による収入200百万円により資金が増加した一方で、長期借入金の返済による支出553百万円、配当金の支払額268百万円により資金が減少したためであります。

### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界的な物価高と金融引き締めによる内需の下振れに加え、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源やエネルギー価格の上昇や円安による物価上昇の影響を受け、景気の先行きについては予断を許しません。また、当企業グループの収益に大きく影響をおよぼす顧客各企業の設備投資につきましても、コロナ禍からの復調が一息ついたところで、資材価格や建設コストの高騰を背景に、計画が先送りされることが懸念され、経営環境は厳しい状況が続くと予想されます。

このような状況のもと、当企業グループは2022年3月に公表した「中期経営計画『Imagination 2025』」（2023年3月期から2025年3月期）の最終年度として、「成長戦略」と「経営基盤強化戦略」の各戦略を確実に実行し、「PHASE1構造改革期」で中長期経営ビジョンの実現に向けた構造改革を推進し、「PHASE2成長期」での成果に繋げてまいります。

次期の通期連結業績につきましては、国内の半導体関連業界向け、および中国、韓国の電気自動車用の電池関連業界向けが一服する影響などにより2024年3月期を若干下回るものの、2023年8月10日に修正いたしました中期経営計画最終年度の計画は達成する見通しであり、売上高14,000百万円、営業利益1,300百万円、経常利益1,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益880百万円を見込んでおります。上記通期連結業績予想には、2023年2月24日付け「Anton Paar GmbHとのライセンス契約の締結に関するお知らせ」でお知らせしました、知的財産のライセンスの対価である契約一時金の収受を織り込んでおります。

なお、業績予想は、当企業グループが発表日現在において入手可能な情報により判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって変動する可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当企業グループは、海外からの資金調達を行っていないこと、ならびに連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,191,416	3,392,980
受取手形	380,035	283,613
電子記録債権	1,009,398	1,352,484
売掛金	3,328,135	3,075,161
契約資産	100,299	319,925
商品及び製品	680,136	1,018,766
仕掛品	743,100	810,767
原材料及び貯蔵品	1,853,448	2,099,948
その他	269,155	305,562
貸倒引当金	△20,159	△24,337
流動資産合計	11,534,966	12,634,873
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,860,370	1,932,727
機械装置及び運搬具(純額)	886,091	805,095
土地	5,756,028	5,757,028
リース資産(純額)	69,147	45,600
その他(純額)	153,908	213,932
有形固定資産合計	8,725,545	8,754,383
無形固定資産		
ソフトウェア	211,276	155,193
のれん	360,815	300,679
リース資産	630	-
その他	33,962	18,489
無形固定資産合計	606,685	474,362
投資その他の資産		
投資有価証券	285,670	355,859
長期貸付金	5,858	5,169
退職給付に係る資産	-	12,208
繰延税金資産	299,314	243,846
保険積立金	781,705	725,773
その他	135,548	254,802
貸倒引当金	△9,990	△9,990
投資その他の資産合計	1,498,108	1,587,669
固定資産合計	10,830,339	10,816,415
資産合計	22,365,305	23,451,289

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	751,988	755,389
短期借入金	1,413,512	1,310,460
リース債務	35,907	33,026
未払法人税等	268,028	242,719
契約負債	135,955	179,087
賞与引当金	633,109	703,041
製品回収関連損失引当金	2,882	-
その他	752,041	1,091,844
流動負債合計	3,993,426	4,315,570
固定負債		
長期借入金	714,163	507,266
リース債務	38,747	16,883
繰延税金負債	3,896	-
再評価に係る繰延税金負債	1,513,700	1,513,700
役員退職慰労引当金	50,608	13,866
環境対策引当金	5,465	5,465
退職給付に係る負債	1,560,890	1,509,618
資産除去債務	143,996	148,711
その他	57,961	55,703
固定負債合計	4,089,431	3,771,216
負債合計	8,082,858	8,086,786
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,200,000	2,200,000
資本剰余金	2,137,129	2,137,129
利益剰余金	5,957,154	6,790,470
自己株式	△403,009	△403,010
株主資本合計	9,891,273	10,724,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,230	103,432
土地再評価差額金	3,386,928	3,386,928
為替換算調整勘定	548,850	668,128
退職給付に係る調整累計額	△10,124	29,030
その他の包括利益累計額合計	3,973,884	4,187,520
非支配株主持分	417,289	452,392
純資産合計	14,282,447	15,364,502
負債純資産合計	22,365,305	23,451,289



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	13,312,886	14,347,897
売上原価	8,035,029	8,395,522
売上総利益	5,277,856	5,952,375
販売費及び一般管理費	4,172,609	4,476,424
営業利益	1,105,246	1,475,951
営業外収益		
受取利息	14,914	18,349
受取配当金	4,620	4,976
持分法による投資利益	9,360	11,777
受取賃貸料	77,624	77,663
為替差益	32,130	23,183
その他	60,536	57,410
営業外収益合計	199,186	193,361
営業外費用		
支払利息	28,678	47,229
賃貸収入原価	46,258	43,294
その他	1,323	5,827
営業外費用合計	76,260	96,351
経常利益	1,228,172	1,572,960
特別利益		
固定資産売却益	462	640
投資有価証券売却益	4,850	868
ゴルフ会員権売却益	2,169	-
製品回収関連損失引当金戻入額	-	2,882
特別利益合計	7,481	4,391
特別損失		
固定資産売却損	32	8
固定資産除却損	11,070	9,533
投資有価証券売却損	-	150
アドバイザー費用	204,509	16,545
特別損失合計	215,613	26,237
税金等調整前当期純利益	1,020,041	1,551,114
法人税、住民税及び事業税	355,105	400,929
法人税等調整額	△16,782	15,752
法人税等合計	338,323	416,682
当期純利益	681,718	1,134,432
非支配株主に帰属する当期純利益	32,531	32,268
親会社株主に帰属する当期純利益	649,186	1,102,163

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	681,718	1,134,432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,674	55,202
為替換算調整勘定	160,394	141,049
退職給付に係る調整額	87,827	39,155
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,232	△1,388
その他の包括利益合計	253,664	234,018
包括利益	935,382	1,368,450
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	876,033	1,315,799
非支配株主に係る包括利益	59,348	52,650

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,200,000	2,137,129	5,464,796	△402,987	9,398,938
当期変動額					
剰余金の配当			△156,828		△156,828
親会社株主に帰属する当期純利益			649,186		649,186
自己株式の取得				△22	△22
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	492,358	△22	492,335
当期末残高	2,200,000	2,137,129	5,957,154	△403,009	9,891,273

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	41,555	3,386,928	416,506	△97,952	3,747,037	368,456	13,514,432
当期変動額							
剰余金の配当							△156,828
親会社株主に帰属する当期純利益							649,186
自己株式の取得							△22
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	6,674	-	132,344	87,827	226,847	48,832	275,679
当期変動額合計	6,674	-	132,344	87,827	226,847	48,832	768,015
当期末残高	48,230	3,386,928	548,850	△10,124	3,973,884	417,289	14,282,447

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,200,000	2,137,129	5,957,154	△403,009	9,891,273
当期変動額					
剰余金の配当			△268,847		△268,847
親会社株主に帰属する当期純利益			1,102,163		1,102,163
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	833,316	△0	833,315
当期末残高	2,200,000	2,137,129	6,790,470	△403,010	10,724,589

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	48,230	3,386,928	548,850	△10,124	3,973,884	417,289	14,282,447
当期変動額							
剰余金の配当							△268,847
親会社株主に帰属する当期純利益							1,102,163
自己株式の取得							△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	55,202	-	119,278	39,155	213,635	35,103	248,739
当期変動額合計	55,202	-	119,278	39,155	213,635	35,103	1,082,054
当期末残高	103,432	3,386,928	668,128	29,030	4,187,520	452,392	15,364,502

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,020,041	1,551,114
減価償却費	612,803	499,166
のれん償却額	110,956	60,135
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,169	2,637
製品回収関連損失引当金の増減額 (△は減少)	-	△2,882
賞与引当金の増減額 (△は減少)	106,715	67,406
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	14,522	7,231
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	-	△15,337
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	701	△37,510
受取利息及び受取配当金	△19,534	△23,326
支払利息	28,678	47,229
持分法による投資損益 (△は益)	△9,360	△11,777
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4,850	△718
固定資産売却損益 (△は益)	△429	△632
固定資産除却損	11,070	9,533
アドバイザー費用	204,509	16,545
ゴルフ会員権売却益	△2,169	-
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△499,150	△145,973
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△366,199	△624,605
仕入債務の増減額 (△は減少)	52,078	△14,428
その他	△185,453	88,835
小計	1,079,099	1,472,643
利息及び配当金の受取額	20,297	24,087
利息の支払額	△28,815	△47,145
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△281,893	△434,094
助成金の受取額	8,001	-
アドバイザー費用の支払額	△204,509	△16,545
受取保険金の受取額	25,267	3,434
営業活動によるキャッシュ・フロー	617,448	1,002,379

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△258,765	△192,034
定期預金の払戻による収入	317,664	231,572
有形固定資産の取得による支出	△369,976	△268,484
有形固定資産の売却による収入	557	1,581
有形固定資産の除却による支出	△4,394	△8,922
無形固定資産の取得による支出	△35,535	△6,361
投資有価証券の取得による支出	△20,233	△1,748
投資有価証券の売却による収入	16,650	24,888
貸付けによる支出	△3,362	△7,613
貸付金の回収による収入	4,604	7,072
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△22,750	-
その他の支出	△64,870	△52,223
その他の収入	60,730	100,067
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△379,681</b>	<b>△172,204</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	18,274	△7,035
長期借入れによる収入	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△582,283	△553,526
リース債務の返済による支出	△41,152	△36,256
自己株式の取得による支出	△22	△0
配当金の支払額	△156,828	△268,847
非支配株主への配当金の支払額	△12,496	△17,790
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△574,509</b>	<b>△683,458</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	110,084	87,645
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△226,658	234,362
現金及び現金同等物の期首残高	3,190,162	2,963,503
現金及び現金同等物の期末残高	2,963,503	3,197,865

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「受取保険金」は、重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「受取保険金」25,267千円、「その他」35,268千円は、「その他」60,536千円として組み替えております。

(キャッシュフロー計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「受取保険金」は、重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「受取保険金」△25,267千円、「その他」△160,185千円は、「その他」△185,453千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

当企業グループは、計測機器等の製造・販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報については記載を省略しております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	618.87円	665.60円
1株当たり当期純利益	28.98円	49.20円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	649,186	1,102,163
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	649,186	1,102,163
普通株式の期中平均株式数(千株)	22,403	22,403

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

(単位：千円)

期 別 項 目	前連結会計年度		当連結会計年度		増減 金 額
	自 2022年4月1日 至 2023年3月31日		自 2023年4月1日 至 2024年3月31日		
	金 額	構成比 %	金 額	構成比 %	金 額
I. 生産実績					
センサ部門	9,138,200	67.2	9,815,573	67.1	677,373
システム部門	1,916,004	14.1	2,068,392	14.2	152,388
サービス部門	2,535,225	18.7	2,726,162	18.7	190,937
合 計	13,589,430	100.0	14,610,129	100.0	1,020,698
II. 受注状況					
センサ部門	9,769,220	70.6	10,305,003	68.7	535,782
システム部門	1,586,708	11.5	1,986,770	13.3	400,061
サービス部門	2,472,760	17.9	2,694,055	18.0	221,294
合 計	13,828,689	100.0	14,985,828	100.0	1,157,138
期末受注残高	4,994,167		5,632,097		637,930
III. 販売実績					
センサ部門	9,237,771	69.4	9,937,160	69.3	699,389
システム部門	1,583,660	11.9	1,724,808	12.0	141,147
サービス部門	2,491,454	18.7	2,685,928	18.7	194,473
合 計	13,312,886	100.0	14,347,897	100.0	1,035,011

## (2) 役員の異動

## ①代表者の異動

該当事項はありません。

## ②その他の役員の異動 (2024年6月27日付予定)

## 1. 新任取締役候補

氏名	新役職	現役職
高橋 靖宏	社外取締役 (監査等委員)	明治安田オフィスパートナーズ (株) 集団・財形事務サービス部 審議役

## 2. 退任予定取締役

社外取締役 (監査等委員) 池上 幸定